

一説では、本年は世阿弥(1363or64~1443)生誕650年とされます。その世阿弥は『風姿花伝』『第一年来稽古條々』で能役者の成長過程を「7歳、12-3歳、17-8歳、24-5歳、34-5歳、44-5歳、50有余」の7期に分け、それぞれの段階の特徴と課題と芸境を明確に示しています。例えば12-3歳の特徴は「童形なれば、何としたるも幽玄」ですが、17-8歳にもなると「声変り

ぬれば、第一の花失せ」るので、だからこそ「心中には、願力を起して、一期の堺こなりと、生涯にかけて能を捨てぬより外は、稽古あるべからず。ここにて捨つれば、そのまま能は止まるべし」と強調しています。この「稽古」や能楽修行の問題を、現代の教育との比較によって浮き彫りにし、「学び」(真似び)のあり方を再考したいと思います。ご参加をお待ちしています。

ワザとこころ

能の伝承 稽古と修行と教育



日時
2015年1月12日(月・祝)

13:00~17:00(受付開始 12:30~)

場所 京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町44

<http://www.kyoto-kanze.jp/access/index.htm>

参加費 無料

定員300名

(申込による先着順)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

■開会挨拶: 吉川左紀子

(京都大学こころの未来研究センター長)

■趣旨説明: 鎌田東二

(京都大学こころの未来研究センター教授・宗教哲学・民俗学)

■第1部: 観世清河寿(観世流二十六世宗家)、観世三郎太

鎌田東二=司会

能の稽古の伝承のトーク

■実演: 舞囃子

観世清河寿、観世三郎太

■休憩

■第2部: シンポジウム

「能の伝承~稽古と修行と教育」

観世清河寿、観世三郎太

西平直(京都大学大学院教育学研究科教授・教育人間学)

河合俊雄(京都大学こころの未来研究センター教授・臨床心理学)

鎌田東二=司会

申込方法

E-mail、FAXのいずれかでお申込みください。

件名に「ワザとこころ 申込」と明記し、必要事項を記入の上、ご送付ください。

必要事項①氏名(ふりがな)②所属 ③返信用ご連絡先 定員に達し、ご参加頂けない場合のみ、ご連絡差し上げます。

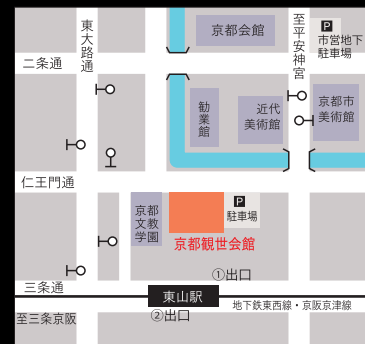
連絡先/申込先: 京都大学こころの未来研究センター・リエゾンオフィス

E-mail: kokoro-event-2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp fax: 075-753-9680

主催: 京都府/京都大学こころの未来研究センター

後援: 一般財団法人観世文庫、古典の日推進委員会

協力: 公益社団法人能楽協会京都支部、公益社団法人京都観世会、
京都観世会館



- 地下鉄東西線「東山駅」下車(徒歩約8分)
- 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車(徒歩約5分)
- 市バス「東山仁王門」下車(徒歩約5分)

